

平成29年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	長寿社会における世代間移転と経済格差： パネルデータによる政策評価分析
研究代表者	樋口 美雄
研究期間	平成29年度～平成33年度
科学研究費委員会 審査・評価第一部会 における所見	<p>本研究は、三世代の家計パネルデータを構築し、長寿社会における世代間移転と経済格差について総合的な研究を行うことを目的としている。</p> <p>応募者らは、これまでも日本家計パネルデータの構築とこれを利用した実証研究において優れた研究成果を上げ、またそのデータのオープンプラットフォーム化によって、学界全体の研究推進にも貢献してきた。本研究では、日本家計パネル調査の対象を三世代にわたる家族に拡張し、世代間の所得移転と経済格差の実態及びメカニズムを分析する点において、独創的な研究成果が期待できる。また、世界的に最も長寿社会になっている日本が直面している多くの政策課題にも具体的な提言が期待できるものである。</p> <p>以上の理由により、特別推進研究として推進することが適当と考えられた。</p>